



Issue on June 1, 2023

# もりこう

VOL.53

発行所：大森学園同窓会  
大田区大森西3-2-12  
大森学園高等学校内  
お問い合わせ：TEL 03(3762)7336(代)  
FAX 03(3766)0314  
Mail：info@moriko-kai.jp  
URL：https://www.moriko-kai.jp/  
発行責任者：矢内英彦  
編集責任者：広報委員会  
題字：山崎正男先生

## 祝 同窓会(もりこう会)発足70周年

もりこう会発足70周年にあたり、その間のもりこう会ならびに母校の動向概要を表にしてみました。

★もりこう会小史		令和5年6月現在
年号・年次	もりこう会	大森学園(旧大森工業)高等学校
昭和28(1953)年	同窓会発足総会開催・初代会長 遠藤源吾選出	
昭和29(1954)年		6月 学校長 山口萬先生退任(昭和22年7月～) 同 学校長米澤勇作先生就任
昭和37(1962)年		3月 学校長 米澤勇作先生退任 4月 学校長 早坂朝太郎先生就任
昭和39(1964)年	同窓会会報・創刊号発行	
昭和41(1966)年	第二代会長 友野藤男選出	
昭和43(1968)年	同窓会会報名を「もりこう」に改め、第2号発行	
昭和47(1972)年		情報技術科を設置
昭和49(1974)年	母校内にもりこう会事務局を設置	
昭和52(1977)年		3月 学校長 早坂朝太郎先生退任 4月 学校長 野原隆治先生就任
昭和59(1984)年		実習棟(4階建)・第2体育館完成
平成元(1989)年	会員名簿を発行 母校創立50周年を記念して総会后「もりこう会」 主催祝賀会を母校体育館で開催	創立50周年記念式典を挙げる
平成2(1990)年	役員会内に総務、財務、広報の3委員会を設置 活動の活性化を図る 同窓会記念事業として「潮の光」奨学制度を設立する	3月 学校長 野原隆治先生退任 4月 学校長 米澤正倫先生就任
平成6(1994)年	各クラス幹事出席のもと拡大幹事会開催	総合技術科を設置
平成11(1999)年	母校創立60周年を記念して総会后「もりこう会」主催祝 賀会を母校第二体育館で開催 会員名簿(平成11年度版)発行	創立60周年記念式典を挙げる
平成12(2000)年		3月 学校長 米澤正倫先生退任 4月 学校長 井上皓司先生就任
平成14(2002)年	第三代会長 菊池良幸選出	
平成17(2005)年		大森工業高等学校を大森学園高等学校と 改める 普通科を設置 8月・新校舎(8階建教室棟)が完成
平成18(2006)年		9月・新校舎(講堂棟)が完成
平成19(2007)年		普通科共学スタート・新校舎(部室棟)が完成
平成21(2009)年	母校創立70周年を記念して大田区産業プラザ(PIO)で 総会后「もりこう会」主催祝賀会を開催	創立70周年記念式典を挙げる
平成22(2010)年	第四代会長 大谷正勝選出	3月 学校長 井上皓司先生退任 4月 学校長 畑澤正一先生就任
平成23(2011)年		合宿所【有隣寮】新築
平成25(2013)年	もりこう会発足60周年	
平成30(2018)年	もりこう会65周年	
令和元(2019)年	母校創立80周年を記念して大田区産業プラザ(PIO) で「もりこう会」主催トークショー・祝賀会を開催	創立80周年記念式典を挙げる
令和2年(2020)年	新型コロナウイルス感染症流行の為 活動を中止する	新型コロナウイルス感染症流行の為 全国一斉休業の後 緊急 自体宣言が発出される オンライン授業で対応ようになる
令和3年(2021)年	広報活動を一部再開し9月に50号・51号2年分を発行する 総会は中止	
令和4年(2022)年	コロナ禍で3年ぶりの総会開催(懇親会は中止) 第五代会長 矢内英彦選出	
令和5年(2023)年	もりこう会70周年、現在に至る	



### 新会長挨拶

もりこう会会長 矢内英彦



令和四年七月の総会にて大谷前会長の後任として、もりこう会の会長に就任致しました。大役を仰せつかり、まさに身の引き締まる思いでございます。

私の高校時代を振り返ると、私なりに苦勞の連続でした。一時間半程度の通学、万年筆で書くレポートの提出（同性代の人ならお分かりだと思います）、椎間板ヘルニアの手術とリハビリ、バレーボール部を退部、進級の危機などがありました。三年生のときは学級委員長でしたが、当時だった担任の安達先生、校長の畑澤先生、理事の末吉先生らのご指導のおかげで何とか当校を卒業できました。

当校とは、平成二十九年のキャリアセミナーにおける講師登壇がきっかけで縁ができ、その後、もりこう会の常任幹事になりました。

ました。

それから年月が経ち、令和四年に当時の大谷会長から私宛に電話があり、次期会長就任のオファーをいただきました。理不尽な要求でない限り、先輩の言うことが絶対という環境で育った私にとって、大先輩である大谷会長のオファーを断る理由がありませんでした。しかし、私が新会長に相応しいか分からなかったため、大谷会長に副会長と常任幹事の了承を取るようお願いしました。また、副会長と委員長を経験していない私が会長になることに疑問があったため、私の周囲約100名に相談したところ、賛成したのは父と叔母の2名だけでした。妻と兄は反対で驚きましたが、このようなオファーは誰にでもあるわけではありませんし、運命だと思い承りました。

もりこう会の体制については、大谷前会長、渡辺副会長と相談し、学校行事の参加に積極的な秋葉先輩に、副会長に就任していただきました。会計監査を除く要職には渡辺副会長を含めた3名となり、部会の委員長制を廃止しました。

ちなみに、私は学校教育が肌に合わないのも今でも学校が苦手です。しかし、歴史あるもりこう会の会長というのは、好き嫌いでやるものではないと思いますし、私は人との縁・繋がりを大切にしています。その上で、皆様の信任により会長を務めております。

同窓会の新しい試みを考えていますが、生徒、教職員、学校のために何かできるかを模索中です。会員の皆様のご意見も伺っ

て、より良い形にしていければと思います。今度とも、よろしくお願い致します。

最後になりますが、会員の皆様には、同窓会活動のご理解、温かいご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

なお、同窓会活動を末永く継続していくには、活動を先輩から後輩へと引き継いでいかなければなりません。もりこう会の活動を支えてくださる役員候補者に多くの会員が手を挙げて欲しいと願っています。役員候補者には、本活動に実質的に参加できる方であれば、年齢、世代、性別いずれも問いません。できるだけ長く活動に携わっていただける方をお願いできればと思います。

不明な点については、もりこう会事務局（大森学園高等学校内）  
〔電話：03-3762-1733〕へお問い合わせください。



### 会長退任ご挨拶

前会長 大谷正勝



会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は平成二十二年通常総会においてもりこう会（以下本会と称す）会長に選出され、以来その任にあたってまいりましたが、昨年の通常総会においてその任を退かせていただきました。

在任中は会則に謳われる目的を念頭に、本会の維持、発展に些かでも資するよう役員の方々と力を和して活動に努めてまいりました。

主な活動は通常総会・懇親会の開催、母校の現況や会員に係わる情報などをお届けする会報「もりこう」の発行、ならびに知らせ等をリアルタイムでお届けするホームページの運用等であります。くわえて学園祭では「卒業生の広場」の設置運営、な

らびにキャリアセミナーへの協力等であり  
ます。

さらに令和元年は母校創立八十周年の慶  
賀の年にあたりましたので、本会は諸先生  
会員各位等多数に出席いただき祝賀会を執  
り行いました。

当日はどのテーブルもクラスメイトや恩  
師等との久々の対面であり、会場は賑やか  
な会話が錯綜し笑顔と熱気に包まれた宴と  
なりました。

この計画準備には役員一同汗を流し時間  
も費やしましたが、出席者の嬉々として振  
舞う姿や会場の盛り上がりの様子は、私た  
ちにやり遂げた喜びと大きなパワーを与え  
て下さったように思います。

また入学式、卒業式などの学園諸行事に  
お招きいただき、母校の現況を見聞出来た  
ことは、本会の諸活動に少なからずプラス  
になったと感じます。

一方でコロナ禍は諸活動に様々な影響を  
及ぼし令和二年度、三年度の通常総会・懇  
親会とともに中止に至ったことは存知の通  
りです。

この様に予測せぬこともありましたが、  
諸活動を通して多くの会員の方々、先生方  
とご縁を得ましたことは幸甚なことと存じ  
ます。

本年一月コロナウイルスの感染症法上の  
位置付けを五月より二類から季節性インフ  
ルエンザと同じ五類に引き下げるとの首相  
発言が報じられました。

明るい兆しが見えつつありますが一日も  
早く安心安全の日を迎え、総会懇親会等の

諸活動に会員の皆様先生方など多くの方  
々に参集いただき、交流懇談の輪をさらに広  
げられるよう心から願う次第です。

結びとなりましたが、長年にわたりこの  
任に携わることが出来ましたのは、ともに  
活動に力を注いで下さった役員の方々な  
らびに会員の方々、先生方など関係各位の  
ご協力ご支援のお陰であり、ここに衷心よ  
りお礼を申し上げ退任の挨拶とさせていた  
だきます。

### コロナ禍の影響

校長 烟澤正一



卒業生の皆様には、日頃より、大森学園  
の教育にご理解をいただき誠にありがとう  
ございます。お元気で過ごしてしょうか。

「新型コロナウイルスの感染拡大」から丸  
三年が過ぎ、何とか通常の生活環境を取り

戻すことができるようになりました。「コロ  
ナ禍」は「テレワーク」を推し進め、社会  
により大きな変化をもたらしました。企業  
においては、コロナ対応と企業活動の両立  
を考えれば、テレワーク導入は必然的なも  
のと思われれます。また、コロナ禍がテレワ  
ークも含め、様々な場面でのオンライン化や  
AI導入等、社会変革を推し進める大きな  
転機になったように思われます。

しかし、学校現場は少し事情が違います。  
コロナ禍で人の移動が制限される中、緊急  
の策として、全国の学校でオンライン授業  
が始まりました。政府のデジタル化政策も  
あり、いつにない速いスピードで推し進め  
られました。もともとオンライン授業は様々  
な理由で通学できない生徒のためのツール  
として、通信制の学校現場ではすでに導入  
されていきました。と

ころがコロナ禍の三  
年間で、高等学校の  
授業はオンラインで  
十分できるというよ  
うな風潮があります。  
私はそれに強い危機  
感を持っています。  
特に、広域の通信制  
高校などの「オンラ  
イン授業で高校を卒  
業できる」的なTV  
コマーシャルが連日  
のように流されてい  
ました。日本国民を  
洗脳するかのよう

勢いです。

学校は卒業単位取得のみを目的とするも  
のではなく、対面での学校生活の中、クラ  
スや部活動など多くの人との交流により、  
人間性や社会性を育むことが大きな使命で  
す。人との交わりの中で相手に対する思い  
やりや、自分への厳しさ等学ぶことがたく  
さんあります。またコミュニケーション力  
を高めることも社会から求められています。  
失敗や無駄だと思えることができるのも学生  
時代です。資格取得だけが目的ならばオン  
ライン授業は利便性があると思いますが、  
人間性を高め社会性を育てるには十分では  
ないと考えます。

卒業生の皆様には、今後も学校教育への  
応援と、本校の教育活動へのご理解とご協  
力をよろしく願っています。

### 米澤理事長先生を囲んで



令和5年4月6日木曜日に母校入学式があり、  
理事長米澤正倫先生と同窓会矢内会長、秋葉副会  
長、渡辺副会長で写真を撮影させて頂きました。

# あの先生は 今



安達 毅

卒業生を五回輩出した後、学年主任を二周、教務部長二年、教頭を十年、そして二年間副校長を務め今年の三月に定年退職しました。もりこう会の矢内会長は私の二回目の、渡辺副会長は五回目の卒業生です。(二人とも今後の活躍を大いに期待しています。)ブラスバンド部がやりたくて先生になりました。東京都吹奏楽コンクールで「金賞」をいただくことはできませんでしたが、五十名を超える男子校サウンドで二学期はほぼ毎週、日曜日にはどこかのイベントに出演し、私たちの演奏を楽しんでいただきました。平成九年からは現校長の畑澤先生の後任として生徒会顧問となり「工業高校生ならではの」ボランティア活動にこだわって生徒と共に有意義な体験をさせてもらいました。「車いすのメンテナンス」「おもちゃの病院」「空飛ぶ車いす」「高齢者の為のイ

ンターネット教室」。これらの活動はマスコミにも注目されとても高く評価していただきました。多くのみなさんの援助をいただき貴重なかけがえの無い経験ができたこと、この場をお借りいたしまして深く感謝し、お礼申し上げます。誠にありがとうございました。

四月からは学校法人の評議員を務めさせていただくことで学校に関わりながら、これまでの地域の方々と高校生との関係づくりの体験を活かして、居住している町田市での地域活動を考えています。

ここ数年温めていた計画を実行し、自宅の一階をコミュニティカフェにしました。

## 【多世代がつながる】

「まち」の超高齢化・空き家増加・コミュニティの希薄化。どうすれば行政の限界を私たち一市民の力で補うことができるのでしょうか。地域の皆さんが「つながる」として「ふだんのくらしをしあわせに」する持続可能で誰も取り残さない「まち」ができるのではないかと福祉制度の限界を住民の手でカバーできるのではないかと夫婦の意見が一致し「集いの場作り」に挑戦していきます。わずか20畳程の空間ですが、多世代が交流できる色々な「きっかけ」をここから仕掛けていきたいと思います。

## 【集いの場】

美味しいコーヒーや軽食を召し上がって頂くだけの空間ではなく、「居心地の良い空

間を楽しめたり」「交流の機会や地域活動の中心になったり」「様々な出会いや発見」の機能を持った「居場所作り」への挑戦です。ここに集う仲間うちだけでなく、誰もが気軽に入ることができ、広く地域に開かれた「カフェ的な空間」が、地域の活性化や課題解決に繋がっていくと信じ、ここから発信していきます。

## 【まちづくり】

カフェには人が交流する「場の力」があるとされます。人と人がつながる場所、一人ひとりの小さな想いがカタチになっていく・・・こんな事をしてみたい・・・「まち」であつたら・・・そんなコミュニティカフェ発の「まちづくり」に挑戦していきます。地域の誰もが気軽に利用でき、子どもから大人まで、多世代にわたって交流しあえる空間を、まずは、有志やボランティアのみなさんと共に運営していきたく考えています。

## 【徒歩圏内の関係性】

この「集いの場」での「つながり」は「共助」へ繋がっていきます。居住地域の中には、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が

あります。今までの教員の体験を活かし「多世代交流の場作り」を通して「徒歩圏内の関係性」をテーマに「まちの仕組みづくり」に挑戦していきたく思っています。

町田市成瀬台という地にコミュニティカフェ みんなの居場所「陽だまりカフェ」があります。既に何名かの卒業生が遠路はるばる顔を出してくれています。ぜひ一度足をお運びください。

陽だまりカフェQRコード



安達先生と同窓会矢内会長・渡辺副会長  
令和5年3月3日卒業式撮影



▲「大森西の写真展」チラシ



# 大田区立大森西図書館で開催された 「大森西の写真展」で母校が紹介されました！

令和五年四月二十九日土曜日から五月十四日日曜日まで大田区立大森西図書館で「大森西の写真展」が開催されました。テーマは昭和から平成の昔懐かしい大森西の写真を展示する企画で大森学園紹介コーナーを設置して頂きました。母校の写真は理事長米澤正倫先生が撮影した写真を中心に展示され、本会からは母校八十周年校章手拭いが展示されました。また、母校の他、大森町商店街をはじめ東邦大学、地元小中学校の写真や東邦医大通りはオニタビ通りと呼ばれていた事にちなんで、オニタビの看板も展示されました。オニタビの工場は大森第八中学校の体育館・校庭付近に戦前あったそうです。



## 令和4年度 クラブ活動報告

### 運動部



#### ■ サッカー部

4月関東高校サッカー東京都予選  
1回戦 昭和第一学園 ○3-1  
2回戦 日大豊山 ●0-1  
東京都ベスト16

6月全国高等学校総合体育大会東京都予選  
1次T代表決定戦 創価 ○3-0  
2次T1回戦 日大豊山 ●1-2  
東京都ベスト20

4月~10月 高円宮杯JFA  
U-18サッカーリーグ東京T4  
グループリーグ 6勝2分1敗  
Bブロック第3位  
順位決定戦 堀越B ○5-4 第5位

11月全国高校サッカー選手権大会東京都予選  
1回戦 明大明治 ○1-0  
2回戦 都立東 ○3-0  
準々決勝 関東第一 ○1-1  
PK5-3  
準決勝 国士館 ●1-2 第3位

選手権大会では、準々決勝において昨年苦杯を喫した関東第一にPK戦の末競り勝ち、2年連続で西が丘の舞台に立つことができました。準決勝の国士館戦では先制をするもすぐさま追い付かれ、そしてサッカー界をも賑わせたスーパーロングシュートに沈み西が丘を越えることができませんでした。また、リーグ戦においても最終節で多摩大目黒Bに敗れ2年連続でT3昇格を逃しました。戦績としては新しい歴史を創ることはできませんでしたが、今井颯大主将を中心として想像を超える成長を遂げ、記憶に残るチームとなりました。大学進学後も競技スポーツとしてサッカーを続ける者が過去最も多く、大学サッカーでの活躍を楽しみにして頂きたいと思えます。

活動を献身的に支えて下さった保護者の皆様、本校教職員の方々、そして生徒たちの応援があり2022年も素晴らしいチャレンジをすることができました。特に選手権準決勝において、もりこう会ならびに誠和会から多大なるご支援を頂き、東京ナンバー1の応援の中で戦えたことはかけがえない部の財産となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。2023年度も皆様に明るさや元気を伝えられる活動をしていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

(顧問:小倉鋭也)

### 野球部

いつも野球部の活動に対しご支援、ご声援を賜り感謝しております。

「万事前進、泥くさくさ」というチームスローガンのもと3年生17名、2年生35名、1年生33名の計85名の部員で活動してきました。大田区の選手のみならず、23区外や神奈川県などからも志高い選手が集まってくれています。平日は学校グラウンドや近郊の球場を借りて練習を行い、休日には関東各県の強豪校に向き練習試合を重ねています。

卒業後に大学野球や社会人野球を継続する選手も増えてきました。田中雄基さん(平成28年度普通科卒)は茨城日産野球部に所属しておりましたが、群馬ダイヤモンドペガサス(独立リーグ)にドラフト指名を受けました。東京ガス野球部(社会人野球)に所属する竹村光司さん(平成25年度機械科卒)も活躍しています。

今後も卒業生の皆様が誇れる学校・チームづくりのために精一杯戦ってまいります。

令和4年度春季東京都高等学校野球大会

一回戦 対大東大第一 4-10

二回戦 対城東 4-16

第104回全国高等学校野球選手権大会

東東京大会

二回戦 対九段中等 8-13

三回戦 対大島海洋・大田桜台・葛西南・

つばさ総合 7-10  
四回戦 対帝京 2-9

令和4年度秋季東京都高等学校野球大会

代表決定戦 対練馬 11-1(6回)

本大会一回戦 対大崎 21-0(5回)

二回戦 対佼成学園 1-9

春季都大会出場決定

部長・和泉隆(国語科)

監督・石黒隼(体育科)

副部長・猪狩清(体育科)

顧問・伊能隆晴(副校長)

顧問・山崎真(理科)

外部トレーナー・本間聖也(株式会社LIF)

顧問・石黒隼



### テニス部

令和4年度はコロナ禍でも出来ることが増え、コツコツ基礎を繰り返し、練習試合に出ることも出来ました。3年生最後の公式戦では2回戦で敗退でしたが、1回戦では上級者相手に我慢し勝つことも出来ました。なかなか上位に食い込むことがむずかしいですが、頭を使い自分で考え、上級者相手に工夫をする生徒は少しずつ増えているように感じます。年末年始にかけた私学大会では本選に出場する女子選手も出ることが出来ました。

経験者と未経験者、先輩と後輩と互いが互いを成長させ合う関係を作ることが出来ていたらなと考えます。

今後ともご支援、ご協力お願い致します。

### 卓球部

今年度は3年ぶりとなる団体戦出場に始まりました。3学年で初めて団体戦に参加した生徒は、後輩の応援を背に戦えた事を嬉しく感じていました。その想いをしっかりと引継ぎ、熱心に練習する現役選手の姿がイベントホールにあります。毎週月曜日には横浜武道館で行われる練習会に参加しています。他県の選手や社会人の選手なども知り合いになり、その輪の中でさらにモチベーションを上げています。新人大会

ではダブルスが都64などシードまであと一歩のところまでできています。大森学園卓球部OBの皆様も、励みになりますので、よろしければ子どもたちが頑張る姿を見に来てください。

### バドミントン部

令和4年度は3年生が17名、2年生が10名、1年生が19名、合計46名の部員数で活動を開始しました。高校入学と同時にバドミントンを始める部員の数の方が圧倒的に多い中で、毎日懸命に練習に取り組んでおります。今年度も感染症対策を徹底しながら、各部員一人一人日々の練習に打ち込むことが出来たと思います。

関東大会予選(2複1単)の結果は、男子は2回戦(vs高島高校)進出、3年生最後の大会であるインターハイ予選(2複3単)では、男子は2回戦(vs都文館高校)進出、女子は残念ながら1回戦で敗退してしまいました。部員数の都合上、女子は団体戦はインターハイ予選のみ出場できましたが、1年間我慢を重ねて練習してきた彼女たちはよく頑張った戦ったと思いたいです。

3年生引退後、男子は冬季ブロック大会でリーグ決勝まで進むことができ、モチベーションはますます上がってきています。部活動を通して、お互いが協力しながら支え合えるような関係を築き上げられるように

顧問も伴走、補助していく所存でありますので、今後ともご支援、ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 柔道部

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中柔道部としても感染対策を充分に行い活動してまいりました。柔道という競技特性上、相手との距離が密になるため、コロナの感染状況を考慮し、他校との合同練習を控え、トレーニングやマスク着用での稽古など生徒にとっては苦しい環境の1年だったと思います。

4月に行われた関東大会予選では1回戦芝高校に敗れたものの、東京都大会決定戦で文教大付属高校に勝利し、都大会へ進出することができました。

3年生が引退し、1年生の部員名となり厳しい状況での新体制となりましたが、夏には他校との合同練習も再開し、修練を重ねてまいりました。1年生初の公式戦となる11月の支部新人戦では、個人戦で無段者の部でベスト8、続く1月に行われた選手権大会予選では無段個人戦3位に入賞するなど着々と実力をつけてまいりました。

来年度新入生を迎え、在校生とともに活躍できる試合をしていきたいと思っております。今後とも応援よろしく願います。

### 剣道部

今年度は3年生3名、1年生5名(男子8名、女子0名)で活動しました。厳しい稽古を通して互いを尊重し、学び合い、教え合いながら少しずつ自律した剣士へと育っています。

部員が少なく、また剣道場がないという限られた環境で稽古しなければなりません。その中で部員たちは互いに刺激し合い成長しております。新型コロナウイルスが猛威を振るう中で、思うように稽古ができない日々が続きましたが、防具をつけないでもできる稽古を中心に、感染症対策を講じながら、精神力・技術力の向上に励んでいます。初心者3名は慣れない体捌きに苦戦し、時には怪我をすることもありますが勝利という目標に向かって日々鍛錬していただきます。卒業生に稽古に参加していただくことも増え、さらなる成長が期待できます。今後とも応援、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 男子バレーボール部

昨年度は関東大会予選でベスト16位の決定戦の結果、2勝1敗で、関東大会4年連続出場として大森学園として10回出場になりました。関東大会では、群馬県代表の明和県央に勝ち、続く埼玉栄(埼玉県2位)

に均衡した試合でしたが敗れてしまいました。その後のインターハイ東京都予選、全日本選手権予選と東京都ベスト16を維持することができました。パワー、レシーブがともに優れている選手が集まり、見ていてとても楽しく、ワクワクするようなバレーを展開することができました。

3年ぶりに開催された新人決勝大会では、東京都ベスト8になりました。まだまだ高みを目指してこれからも精進していきまので応援の程よろしくお願い致します。

OB・OGの方々、練習への参加も心よりお待ちしております。

男子バレーボール部のブログです。よかったら見てください。  
<http://blog.goo.ne.jp/olimadesu/>

昨年度の結果は以下の通りです。

- 関東予選東京都大会 東京都ベスト12位
- 第76回関東大会
- 開催地(群馬県 前橋市) 2回戦出場
- インターハイ東京都予選 東京都ベスト16位
- 東京都私学大会夏 東京都ベスト16位
- 全日本選手権大会
- 一次予選大会 東京都ベスト16位
- 東京都新人大会 東京都ベスト16位
- 東京都私学大会冬 ベスト16位
- 東京都新人決勝大会 東京都ベスト8位 (顧問:尾島寛)

### 男子バスケットボール部

今年度は3年生が5名、2年生が4名、1年生が7名で活動しました。公式戦は4月(関東予選)、5月(1H予選)、9月(第7支部私学大会) 10月(新人戦)の4度ありました。

引き続き部員同士切磋琢磨してチーム力を高めていけたと思います。

徐々に今まで通りの活動ができるようになりまし。他校との練習試合を通して自分たちのチームの課題点を見つかったり、日々の練習の成果を実感してきました。

選手各々が主体的に目標に向かって努力できる環境づくりに尽力してまいります。部活動に対して真摯に取り組める環境をこれからも作っていきたく思います。

実のあるミーティング、練習を通じて個人としての成長とチームとしての成長を図ります。

これからも日々練習を重ね、良い結果を報告したいと思っております。OB・OGの皆様引き続き応援よろしくお願い致します。



### 女子バスケットボール部

顧問・佐藤緑子・小平晃大  
 部員・3年生／2名・2年生／3名(マネージャー1名)・1年生／6名 計11名  
 活動日・毎週 月・水・金・土・日 計5日

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で例年より練習量が半分くらいになっている世代です。また、3年生が引退すると部員が10人に満たないため5対5ができないのですが、ちよこちよこ卒業生が練習に来てくれて嬉しい限りです。R5年は創部以来一番の長身選手が入部してきたので良い戦績を残せるよう努めます。バスケット部ではなかった方も、学校に来た際は体育館まで足を運んでいただき懸命に取り組んでくれる部員の様子を是非見に来てください。お待ちしております。



### 女子バレーボール同好会

令和4年度は2年生2名、1年生2名の4名でスタートしました。令和3年度より蒲田女子高等学校と合同チームで各大会に出場しています。令和4年度の大会結果です。

〈春季大会兼関東大会予選(4/29に開催)〉  
 久留米西、松原高校との3チームリーグ戦で優勝  
 合同チームはリーグ戦のみ出場が認められるため、次の駒に進めることができません。物足りなさを感じる大会となりました。

〈夏季大会(8/20および21)〉  
 本校は2回戦からの出場となり、東京都ベスト64となりました。  
 二回戦 対 都市大等々力 2-0 (ストレート勝ち)  
 三回戦 対 錦城学園 2-0 (ストレート勝ち)  
 四回戦 対 足立新田 0-2 (ストレート負け) 四回戦敗退

〈新人選手権大会(11/6)〉  
 芝商業、大島海洋国際と対戦、3チームリーグ戦で優勝  
 新チームとして初の公式戦となりました。エースでキャプテンの後藤由美と1年の乙黒愛希を主力に攻撃を展開することができました。新チームとして、いいスタートを切ることができました。

### チアリーダー同好会

令和4年度は3年生5名、2年生5名、1年生2名の12名でスタートしました。

主な活動は学園祭でのステージ発表、野球応援、体育祭での演技発表です。学園祭では3年ぶりにイベントホールで演技し多くのお客様に拍手をいただきました。また、新型コロナウイルスの流行により中止となっていた野球応援にも行くことができました。

今後よりレベルの高い演技ができるよう活動してまいりたいと思います。

## 文化部



### 鉄道研究部

令和四年度は三年生三名、二年生二名、一年生七名の合計十二名の部員で活動しました。近年では、おもな活動内容として学園祭に向けた大型レイアウト製作やNゲージ車両製作、部員が持ち寄っての鉄道模型運転会など、週三回の活動を行っています。全国高等学校鉄道模型コンテストに向けて作品の製作を行い、本年度も作品を出展しました。作品製作にはだいぶ苦労をしまし

たが、その甲斐があつてか、ベストクオリティ賞を受賞することができました。本年度も部員たちは多くのことを学べたと思います。「撮り鉄」の部員も増え、個人で積極的にコンテストに応募するケースも出てきています。伝統を大切にしながらも、部員の興味・関心に合わせて活動内容も少しずつ変化し続けています。ぜひOBの皆様も機会がありましたら、本校の鉄道研究部にお立ち寄りください。お待ちしております。

### 科学研究部

学園祭では書道同好会・ESSとコラボ企画を行いました。日々の研究にも力を入れており、3部門の研究班それぞれが熱心に実験に取り組んでいます。年度末には日本水産学会の研究発表会と生徒理科研究発表会が行われ、生徒理科に関しては4年ぶりに会場での開催となりました。今年度の成果を引き継ぎ、次年度はよりレベルの高い研究発表ができるよう今後も活動をしていきます。

### 模型部

令和4年度の模型部は、3年生4名と2年生3名の計7名で活動しました。1学期は学園祭における作品展示の準備



を中心に行いました。ミリタリー、ガンダム等を制作し、展示しました。

2学期は体育祭校友会リレーのバトンの替わりに、ガンダムのお面を作りました。3年生が引退して2年生3名になり、講習がありひとりで活動するときもありましたが、他の部活の生徒が遊びに来て、それなりに楽しんで活動していたように思います。楽しんでやる部なので、人数は多い方が色々な情報交換もできるし楽しめると思います。新入部員が入ってくれることを願います。

### ■ブラスバンド部

ブラスバンド部です！コンクールではC組金賞を獲得できました！

様々な演奏会が解禁される中、1年間部員達はモチベーションを高く保ち、走り続けてくれました。また、先日の定期演奏会では300名を超える方々に来場いただくことができました。ご来場いただきました皆様ありがとうございました！

2023年度も自分たちも楽しみながら聴いている方々を楽しませる演奏を披露していきます。そして今年度はコンクール、アンサンブルコンテストどちらも金賞！定期演奏会において2階席も満席！

これらを目指していきます。これからも応援宜しくお願いします。



### 〈2022年度活動実績〉

- 4月 新人生歓迎演奏会
- 6月 学園祭
- 7月 野球応援
- 8月 第62回東京都高等学校吹奏楽コンクール C組金賞
- 9月 大森交通安全パレード (荒天により中止)
- 体育祭
- 11月 紙ひこうきコンテスト
- 12月 第46回東京都高等学校アンサンブルコンテスト銀賞 (2チーム共に)
- 3月 第8回定演演奏会



### ■自動車部

2年間コロナ感染防止のため各競技に参加できませんでしたが、今年度はすべての大会に参加することができましたので、結果報告します。

#### ●ワールド・グリーン・チャレンジ

(W・G・C) 2022ソーラーカーラリー  
8月9日(火)～11日(木)

秋田県大湯村にあるソーラーカーラリーで行われ、3日間の走行距離を競う競技です。秋田県沿岸・内陸では線状降水帯による非常に激しい雨(猛烈な雨)が続き、晴れの日がありませんでした。また、積載しているリチウムイオン電池の異常が見られ、今までの結果に終わりました。そんな中ではありますが、前日までに提出された各日の予定周回数なりに走行時間の正確さで競われる、周回数・走行時間の順で予定に近かったものを上位とするグリーンラリー競技で優勝しました。



#### ●Hondaエコマイレッジ2022

第41回全国大会 10月1日(土)・2日(日) 栃木県にあるモビリティリゾートもてぎ『スーパースピードウェイ』にて、エコラン競技の全国大会が開催されました。この競技は、決められた距離を時間以内に走行し、燃料消費量の少なさを争います。本校からは、2台が出場しました。

- A号車 653 km/ℓ 19位/86台
- B号車 リタイヤ(エンジントラブル)



● 2022 Eneri  
MOTEGI GP 10月8日(土)

栃木県にあるモビリティリゾートもてぎで2020年までは『オーバルコース』で、2021年からは『西コース』で単三形充電池40本を動力源とし、競技が行われます。競技は「タイムアタック(予選)」と「決勝レース(6分)」の合計ポイントで競います

タイムアタック 4分11秒 30位  
決勝レース 16周 23位  
総合 27位 / 40台

来年度も引続き各種大会に向けて頑張っておりますので、応援よろしくお願ひします。



■ 美術工芸部

令和四年度の美術・工芸部は、二年生二名と一年生六名の計八名で活動しました。昨年度の三年生が卒業し、部内では二年生が最上級生という一年間でしたが、四月に多くの新入生が入部し、全員が女子部員ということもあり、今まで以上にぎやかな雰囲気となりました。

一学期は学園祭における作品展示の準備を中心に行いました。一年生がiPadの操作に短時間で慣れる姿に感心すると同時に、二年生のわかりやすく親切な指導がありがたく思いました。人数が増えたせいか、作品のバリエーションも広がったように感じられました。

二学期以降は個人の作品制作と並行し、毎年恒例の年賀状の作成を行いました。全ての作品に生徒さんの個性が反映されていて、一つに絞らなければいけないのが惜しかったです。また、世の中の動きが変化してはいますが、日本の重要な文化の一つでもありますし、今後も大切にしていきたい活動だと、個人的には考えています。

最後に、各部員の所属クラスやコースが多岐に亘っているため、日々の授業のことや、進路などに関する情報交換の場としても、この部活が役立っているように思っています。



■ ESS同好会

ESSは、English Speaking Societyの頭文字を取ったもので、英語を話すことを目的とした部活動です。令和4年度は10名の新入生を迎え、週に2回、ALTのJawan Thompson先生も参加してください。英会話のテクニックを学んだり、実践したり、様々なトピックについて英語で意思疎通を図ったりしています。

一般的にESSは、スピーチ、ディベート、ドラマのコンテスト出場を目指して活動する部活です。一昨年度はコンテストに参加しませんでした。昨年度は英語のことわざを創作するコンテストに、ほぼ全員の部員がオリジナルのことわざを創り、応募しました。残念ながら結果には繋がりませんでした。残念ながら結果には繋がって活動する良い機会となりました。来年度もコンテストへの出場や、コロナも落ち着いてきたので、外国の方との国際交流もできればと考えています。

大森学園の英語教育の新たな一面として、ESSは積極的に努力して参ります。今後とも、ESSの活動にご支援いただけますよう、よろしくお願ひいたします。



■ 車いすメンテナンス

車いすメンテナンスグループも今年で創部25周年。修理した車いすを海外に無料で送る「空飛ぶ車いすプロジェクト」は22年前に始まった。新型コロナウイルスが猛威を振るい、海外に車いすを送るのが難しくなっていたが、3年ぶりにスリランカに車いすを寄贈した。おもちゃの病院と合同でインターアクト団体を招いて、我々の活動をSDGsに絡めた意見交換会も実施した。令和4年度は3年生1名、2年生4名、1年生5名の計10名で活動を行った。悲願だった車いす累計寄贈台数1000台、大森学園公式SNSでの車いすの動画が70万再生。部員が部長の上田(3年電気技術コース)1人の時もあったが、彼が乗り越えた壁はきっと自分を守る盾になったと思う。部員は全員工業科の生徒だが、授業で学んだ工具の使い方や設計の基本を学んでいる。日頃学んだ知識で誰かを幸せにすることが彼らの工業人としての誇りにつながっていくのだと思う。(顧問:大場勇輝)

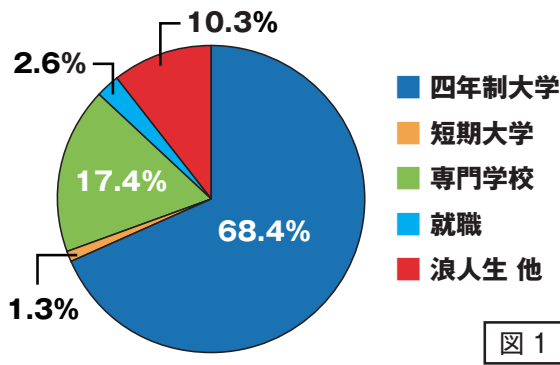


# 令和4年度 進路報告

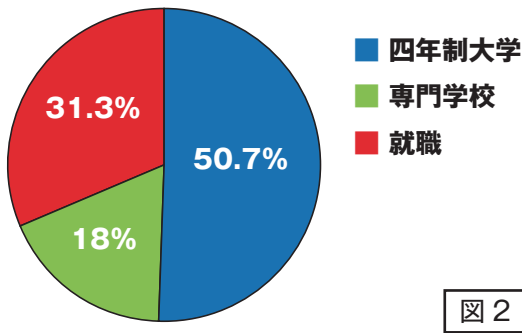
もうこう会の同窓生の皆様にはますますご健勝にて、各方面にご活躍のことと拝察申し上げます。進路指導部より、茲に令和4年度卒業生の進路状況をご報告させていただきます。

この春の卒業生総数は「222名」。「図1」でわかるとおり、普通科では「68.4%」が4年制大学に進学し、短期大学、専門学校への進学がそれぞれ「1.3%」「17.4%」という結果となりました。惜しくも浪人し

## 普通科進路状況



## 工業科進路状況



て再チャレンジする生徒の割合は「10.3%」にのぼり、この割合を減らしていくことも今後の課題だと捉えております。また、工業科については「図2」にて示したとおりですが、4年制大学と専門学校とを合せた進学割合が「68.7%」で、就職割合の「31.3%」を遙かに凌ぐ結果となり、本校の伝統に変動が起きつつある印象です。進学することを決して否定するものではありませんが、整合性のある進路先選択を目指して、微に入り細に入る指導を徹底しなければならぬと考えております。

大学合格状況は「表1」に示したとおりです。久しぶりに「早慶」合格が出たのが喜ばしく、また、国公立大学合格結果も比較的芳しいものであったと評価できると

【表1】 令和4年度 大学合格実績

国公立大学	人数	私立大学	人数
山形大学	1	慶応義塾大学	1
筑波大学	1	早稲田大学	2
東京都立大学	1	東京理科大学	6
横浜国立大学	1	上智大学	3
埼玉県立大学	1	青山学院大学	3
国立看護大学校	1	中央大学	3
		法政大学	6
		明治大学	3
		立教大学	2
		成蹊大学	1
		成城大学	1
		明治学院大学	1

他多数の  
大学に合格

思います。生徒個々の努力と精神力、そして先生方の粘り強いご指導に敬意を表したいと思っております。  
就職について特筆すべきことは、普通科から「長野県職員」、工業科から「横浜市職員」としての採用があったことです。生徒たちが頑張つて学力・能力を高めたからではあります。面接指導等への先生方の多大なるご助力があったことも忘れてはなりません。なお、「ナイスコミュニティーサービズ(株)」・「株式会社イワセ・エスタ東京」・「リノ・ハピア(株)」の事務職に普通科女子が採用さ

れ、工業科からは「西濃運輸(株)」・「日本通運(株)」などの運輸関係、「三菱ふそうトラック・バス(株)」などの自動車関係、「旭工業」・「宮地エンジニアリング(株)」などの機械関係、「三英電業(株)」・「(株)新日本空調サービス」などの電気関係に就職が決まり、「京浜急行電鉄(株)」には2名が合格するに到りました。  
今は本校の進路指導が岐路に差し掛かっていると感じております。「何となく決める」ではなく、生徒・保護者、そして教員双方が納得のできる進路決定を目指し、これからまた切磋琢磨していく所存です。

**令和4年度 もりこう会 決算書** (自:令和4年4月1日~至:令和5年3月31日)

本誌では掲載しております



令和4年度 もりこう会寄付金(敬称略)

令和4年度 潮の光奨学基金寄付金(敬称略)

本誌では掲載しております

寄付者の皆様、ご協力ありがとうございました。

# 新役員紹介

令和二年度普通科国立コース卒業  
常任幹事 緑川絵梨



みなさまはじめまして、令和二年度普通科国立コース卒業の横浜市立大学国際教養学部3年緑川絵梨です。昨年7月よりもうこう会新役員としてもりがくの大先輩に囲まれながら活動させていただいております。もしかするとこれを読んでくださっているもりがくOB/OGのほとんどは、私より20、30個も年上で、「おっと、新参者が出たな」と思われているかもしれません。ですので、少し自分の紹介をさせていただきます。

在学中は国立コースの学生として、表向きは勉強と表し、実際にはボランティアである「おもちゃの病院」の活動に没頭したり、図書館に籠ったり、ただクラスメイトや先生と話しながら放課後を過ごす生徒でした。おもちゃの病院では、この大量生産・大量消費の時代に薄れてしまいがちな「モノを

大切にする」あたたかみを学びながら、主体性や柔軟性、コミュニケーションなど、今大学生として当たり前求められる能力の基盤を築く経験を沢山させていただきました。顧問の先生である工業科長の百瀬浩一先生には大変お世話になり、更におもちゃの病院の活動からご縁があり、高3次には休学をしてブラジルへ交換留学へ。その際には、多くの先生方にご尽力いただきました。その節は有難うございました。ブラジルでの話は濃すぎてまとめられないので、ぜひもうこう会に聞きたいらして下さい。

そして現在は高校時代に得た知見を活かし、横浜市立大学国際教養学部で正解のない問いを悶々と考えております。その傍らではやはり課外活動に明け暮れています。サップというマリンスポーツの部活動で年中日焼けしたり、教育関係のNPO法人でボランティア活動をしたり、また、自分の興味を掘り下げられるアルバイトをしたりしています。

ひよっとするとときらきらした大学生を想像されているかもしれませんが、全然そんなことはなく、アラハタ特有の悩みも常に持ち合わせています。何かに悩んだ時、あなたはどのように対処しモチベを取り戻しますか？ 私は寝たりお風呂に入ることの他に、もりがくに来て先生たちに会うという方法でモチベを取り戻すことがあります。自分が自信を持って「成長できた」といえるこの場所は、私に初心を思い出させてくれ、用がなくなるとときどき立ち寄りしたい想いの詰まった場所なのです。

そんなもりがくに「もうこう会役員」という形で関わる事が出来る機会があり、とても嬉しく思います。変化を続けるもりがく同様、もうこう会もまた変化していくのでしょうか。もし私と同じように卒業した今もりがくと関わっていきたくと思う同世代の方がいらっしゃいましたらご一報ください。一緒に20代目線や女性目線から、今を輝く現役もりがく生へどんな支援が出来るか考えましょう！ まだ入りたてで教えてもらえばかりですが、今後ともよろしくお願致します。

## 同窓会役員名簿

令和4年7月2日現在

顧問	大谷正勝	電気科
相談役	東野武雄	電気科
会長	矢内英彦	情報技術科
副会長	渡辺亮	電気科
副会長	秋葉美典	機械科
会計監査	勝島憲三	電気科
会計監査	西山慎吾	機械科
常任幹事	山本隆彦	電気科
常任幹事	井上良男	電気科
常任幹事	十文字幸雄	情報技術科
常任幹事	須山健二	情報技術科
常任幹事	浅沼徹	電気科
常任幹事	根日屋諒	総合技術科
常任幹事	網川英樹	電気科
常任幹事	緑川絵梨	普通科
事務局長	百瀬浩一	電気科
事務局員	猪狩清	普通科



# 編集後記

## 大森西の写真展

平成十四年三月電気科卒業  
副会長 広報 渡辺 亮

同窓会活動にご支援・ご協力を賜り  
厚く御礼申し上げます。

はじめに今年の通常総会・懇親会開催について会報発行直前まで検討を重ねて参りました。この関係で本年も発行並びに皆様への到着が遅れました事をお詫び申し上げます。

今号の中では大田区立大森西図書館で開催された大森西の写真展を掲載させて頂きました。私事になりますが、大森西五丁目にあります三輪神社の氏子会広報を担当しており、今回の写真展では企画段階から関わっております。また開催期間中は解説員で立つ事もあり、本来の担当は地元の祭り町内会でしたが、大森学園の歴史については母校創立八十周年記念会報の編集に携わっていたので、わかる範囲で母校の解説もさせて頂きました。大田区立の図書館で写真展が開催されるのは珍しいそうで、来場者は開催中二週間で一三〇〇名を超えたそうです。大森

町付近でのイベントで一〇〇〇人を超えるのはとても珍しいです。内容は本会報紙面の通りで、大森学園の展示スペースでは理事長先生が撮影した写真が展示され、特に昭和三十年代に母校付近で撮影した内川に海苔漁で使用していた船が停泊している写真が注目されていました。また、昭和二十年四月十五日に大森の大空襲があった話が出た際には、「この日は大森学園の創立記念日になっていきます」とお話しするとびつくりされている方もいらつしやいました。この空襲では母校は焼失してしまい森ヶ崎の仮校舎で授業を行う事になります。また私の伯母はこの空襲で避難の際、残念ながら亡くなってしまいました。大変な時期を乗り越えて今が

ある大森学園は来場者の方々に関心をもつて頂きました。結びに会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。ありがとうございました。



理事長先生と副会長渡辺 大森西図書館で撮影

## もりこう会ならびに奨学基金へのご支援ご協力のお願について

会長 矢内英彦  
他役員一同

会員の皆様には、平素より本会諸活動に温かいご支援ご協力をいただき誠に有難うございます。さて、もりこう会（以下本会と称す）では会報送付時に「本会」ならびに「潮の光」奨学基金へのご支援をお願い致しております。この度も恐縮ではございますが、倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、役員一同心よりお願い申し上げます。

- 指定の払込取扱票（赤色）を使用し郵便局窓口・ATMで「ゆうちょ銀行口座の通帳・カード」扱いでの払込は払込手数料が無料になります。現金での払込の場合、現金扱いの手数料がかかります。ご注意下さい。
- 同窓会報寄付者名簿への掲載を御希望されない方は払込取扱票に一筆御記入をお願い致します。

## ★ 卒業生の皆様へ ★

# 令和5年度 もりこう会 総会・懇親会のお知らせ

- 日時／7月1日 土曜日
- 会場／母校 大森学園高等学校  
(駐車場・駐輪場はありません)
- 受付／午後2時
- 総会／開会 午後2時30分
- 懇親会／茶話会を行う方向で検討しております  
※詳細は同窓会ホームページを参照してください



## 皆様へお願い

ご出席の方はお手数ですが同窓会ホームページより  
手続きをお願い致します

※ホームページでの手続きができない方は  
事務局までご連絡をお願い致します